

2025 年度 ピアサポート活動報告

I 「ピアサポート制度」業務ガイドライン

ピアサポート制度は、2014 年度より本学初めての試みとして開始された。本制度は、学生による学生のための支援であり、学生同士で勉強や進路などの学生生活のことについて尋ねたり相談したり出来るものである。本制度の趣旨は、学生が、学内の業務に従事し報酬を得ることで、職業意識・職業観を育むと共に、学生に対する経済的な支援を行うこともあるが、更には、将来医療人を目指す学生が、患者との信頼関係を築く上で不可欠なコミュニケーション能力やホスピタリティを養うことが期待出来、その上で、公共的精神、積極性、広い視野や世界観の涵養など人間的成長を促すことを目的とする。12 年目である本年度は、2025 年 4 月より活動を開始した。

II 2025 年度活動内容

2025 年度のピアサポーターは、歯学科 6 年 2 名、4 年 1 名、3 年 2 名、口腔保健衛生学専攻 3 年 1 名の 6 名が 2024 年度から引き続き担当した他、医学科 5 年 1 名、4 年 2 名、2 年 2 名、保健衛生学科看護学専攻 3 年 1 名、保健衛生学科検査技術学専攻 2 年 1 名、歯学科 3 年 1 名の 8 名が 2025 年度から新たに担当となり、計 14 名で活動した。

II-1 今年度の活動方針について

2024 年 10 月の東京科学大学誕生に伴い、2025 年度は理工学系学生団体との協働にこれまで以上に積極的に取り組んだ。特に、新入生ガイダンスを一から共に作り上げた経験は大きな契機となり、学部やキャンパスの垣根を越えた学生同士の相互理解と連携を深める確固たる礎となった。

II-2 相談業務

本年度は、昨年度に引き続き、メールと X(旧 Twitter)の質問箱、対面での相談業務を行った。特に投書箱の相談業務を大幅に拡大した。(相談受付 | Science Tokyo 旧・東京医科歯科大学 <https://www.tmd.ac.jp/peer/consult/>)

2025 年度の相談件数は対面の相談は 0 件、メールが 2 件、X(旧 Twitter)の質問箱が 5 件、投書箱が 18 件となった。投書箱の投書件数は昨年度より 7 件増加した。

具体的な相談受付方法は、メールは scenter.stc@tmd.ac.jp に相談内容を送信していただく形をとった。X(旧 Twitter)の質問箱は、ピアサポーター公式の X(旧 Twitter)アカウント (ID : TMDUpeer) において、匿名での相談受付を実施した。投書箱は学内の 2 箇所 (5 号館 B1F 生協、M&D タワー図書館前) に設置し、匿名での相談受付を実施した。

質問や相談が投稿された場合には、複数名のピアサポーターの同意を得てから回答するという旨のルールのもと運営している。

Ⅱ-3 ピアサポート通信の作成

2024 年度に引き続き、学生に有益な情報を届けるため、ピアサポート通信と題したメールマガジンを不定期に学内メールで配信した。今年度は全部で 4 回配信し、バックナンバーをピアサポーターの web サイトと Slack で配信した。

※ピアサポーターの web サイトに掲載したピアサポート通信のバックナンバー一覧

ピアサポート通信第 24 号 - CBT&OSCE 対策について（歯学科）

ピアサポート通信第 25 号 - 看護師・保健師国家試験対策について（看護学専攻）

ピアサポート通信第 26 号 - 2025 年度 東京科学大学(医歯学系)オープンキャンパスのお知らせ

ピアサポート通信第 27 号 - 2025 年度オープンキャンパスにて個別相談会を開催いたしました！

Ⅱ-4 ピアサポーターによる新入生相談会

今年度も、昨年度に引き続きピアサポーターによる新入生相談会を行った。

【概要】

会場 東京科学大学(旧・東京工業大学)大岡山キャンパス Taki Plaza B1F

期日

2025 年 4 月 6 日(日) 10:30-16:30（新入生ガイダンス実施日）

2025 年 4 月 7 日(月)、14 日(月)13:00-16:30（大岡山 Day）

方法 対面またはオンライン

大岡山 Day には、対面に加えて医歯学系ピアサポーターが Zoom や Slido でオンライン対応ができる体制を整えた。

相談会には、医学部 2 名、歯学部 2 名の計 4 名の新入生が訪れた。相談内容としては、サークルやアルバイトなどの学生生活に関することに加え、国府台での開講科目や授業内容、履修方法など、入学直後の学生生活に関するものが多く寄せられた。

新入生にとって、大学生活や履修について先輩学生から直接話を聞くことのできる機会となり、入学直後の不安や疑問の解消につながったと考えられる。また、ピアサポーターにとっても、新入生がどのような点に不安や疑問を抱いているのかを知る機会となった。

Ⅱ-5 オープンキャンパス個別相談会の実施

今年度も昨年度同様、オープンキャンパスでブースをいただき、受験生に向けたポスター展示と個別相談会を実施した。

【概要】

主催 東京科学大学

期日 2025 年 7 月 31 日(木)10:45-17:00、8 月 1 日(金)10:45-17:00

会場 M&D タワー26 階ファカルティラウンジ

M&D タワー2 階ホワイエ階段下

ポスター展示を通じてピアサポート活動の実態や東京科学大学の魅力を発信したところ、個別相談会には 1 日目（7 月 31 日）に 73 名、2 日目（8 月 1 日）に 81 名の相談者が訪れた。この多数の来場に伴う待ち時間を充実させる工夫として、各学科の案内や在学生のタイムライン、Q&A を掲載した小冊子「Science Tokyo まるわかりミニ」を発行・提供した。相談内容は入試や学業（教養・専門）、国際交流・海外研修、学生生活など多岐にわたり、想定以上の盛況ぶりから、受験生におけるピアサポート活動の需要の高さを強く実感した。

Ⅱ-6 理工学系ピアサポーターとの協働

2024 年 10 月、旧・東京医科歯科大学と旧・東京工業大学が統合し、東京科学大学として新たな体制が始動した。本年度は、昨年度に引き続き、学生同士の相互理解と連携を深め、「一大学」としてのつながりを築くことを目指し、理工学系のピアサポーターとの協働に積極的に取り組んだ。

【活動の詳細】

● 理工学系ピアサポーターとの情報交換会

昨年度より引き続き、理工学系ピアサポーターと医歯学系ピアサポーターで月 1 回程度の合同ミーティングを実施し、両団体の活動内容や取り組みについて意見交換を行っている。また、「ぐるっと！！ぴあノート」などの合同企画の運営に加え、新入生相談会や「ぴあのわ」など、両団体が参加する活動においても、互いに連携しながら準備・運営を進めた。学系ごとの活動状況を踏まえ、互いの知見を活かしながら協力することで、より円滑かつ充実した学生支援の実現に努めた。

● 「春の新入生相談会」企画準備への参画

上記の「学士課程新入生ガイダンス」と並行して、「春の新入生相談会」の企画も行った。新入生の悩みに寄り添える場の提供を目指し、理工学系ピアサポーターとの連携のもと、月 1 回の合同ミーティングを通じて企画内容を検討し、準備を進めた。ま

た、相談内容を適切に共有・記録できるよう理工学系ピアサポーターから共有いただいた相談記録フォーマットを活用し、相談対応後の情報整理や今後の活動への振り返りにも役立てた。

- 「ぐるっと!!ぴあノート」企画への参画

医歯学系・理工学系両キャンパスをつなぐ取り組みとして、双方のピアサポーターが共同企画した「ぐるっと!!ぴあノート」の本格的な運用を開始した。学生が自由にメッセージを書き込めるこのノートは、湯島、大岡山、横浜（旧すずかけ台）の3キャンパスを定期合同ミーティングごとに巡回する形で回した。誌面には定期試験などに対する温かい労いの言葉や、お気に入りのご飯屋さんの紹介などが自然と書き込まれ、キャンパスの枠を越えた学生同士のリアルな交流の場として賑わいを見せた。離れた拠点にいる仲間との緩やかなつながりを創出する新たな試みとして、確かな実績を残した。

Ⅱ-7 学修コンシェルジュ Jr. ガイダンス班との協働

- 「学士課程新入生ガイダンス」の共催

統合後初めての新生を迎えるにあたり、学修コンシェルジュ Jr. ガイダンス班と協力して「学士課程新入生ガイダンス」を企画・実施した。本ガイダンスは旧・東京工業大学において例年開催され、学修コンシェルジュ Jr. を中心とした学生が企画・運営を行ってきたものである。東京科学大学への統合に伴い、2025 年度の新入生から医歯学系・理工学系合同で実施することとなり、2024 年 6 月頃より定期的に合同ミーティングを重ね、学生目線で新生を支援できる体制づくりに取り組んだ。

2025 年度も、次年度の「学士課程新入生ガイダンス」に向けて学修コンシェルジュ Jr. との協働を継続している。前年度の実施経験を踏まえ、企画・運営をより円滑に進めるため、「全体調整班」「学系別班」「インタビュー班」「学びのデザイン班」の4班に分かれ、それぞれの役割に応じて準備を進めた。

- 全体調整班

「全体調整班」では各班が作り上げた成果物をガイダンスとして一流れになるよう細かな調整を行い医歯学系ピアサポーターと学修コンシェルジュ Jr. との協働の橋渡しとしての役割を担った。具体的には、ガイダンス当日のシフト作成やシフトのマニュアル作成のほか、新ピアサポーターへ向けたガイダンス全体の説明資料の作成を行った。特に、シフト作成において 2026 年度ガイダンスは 4 月 5 日(日)6 日(月)と平日を含んだ開催であったため授業の兼ね合いから 6 日(月)に参加できる医歯学系ピアサポーターが多くなく、人員確保において難航した。しかし学修コンシェルジュ Jr. にシフ

トの調整や当日の人員をいただくといった多大なご協力を賜ったほか、教職員の方々のご協力のお陰のもと、参加できるピアサポーターによる柔軟な対応を模索しながら調整を進めることができた。

- **学系別班**

「学系別班」では、昨年度のガイダンスで使用した資料をもとに、医歯学系の新生に必要な情報を整理しながらスライドの作成・改訂を進めた。2026年度は「インタラクティブなガイダンス」をテーマに、新生が説明を聞くだけでなく、主体的に参加できる内容づくりに取り組んでいる。具体的には、国府台キャンパスや湯島キャンパスに関するクイズ、リアルタイムで回答や意見を共有できる「イマキク」の活用、新生同士との歓談タイムなどを取り入れることを検討した。また、ガイダンスで扱った内容を冊子「学びのデザイン」でも確認できるよう両者を連動させ、新生が必要な情報をその場だけでなく、その後の学生生活でも活用できるような工夫を進めた。

- **インタビュー班**

インタビュー班では、医歯学系の6つの学科の卒業生へのインタビューを実施した。大学生活で力を入れたことや、学生時代にやっておくと良いこと、新生へのメッセージなど、卒業生ならではの経験や視点を引き出せるよう、質問項目を工夫した。インタビューで得られた内容は、新生向けの冊子である「学びのデザイン」2026年版に掲載するとともに、インタビュー動画を制作し、新生ガイダンス当日に会場で放映した。卒業生の実体験を通して、入学後の学びや学生生活をより身近に感じてもらえるよう、紙面と動画の両面から情報発信を行った。

- **学びのデザイン班**

新生向けハンドブック「学びのデザイン」2026年版の作成にあたり、理工学系の担当者と連携して企画・校正を進めた。両学系合同での作成は初の取り組みであったため、医歯学系の学生ならではのニーズに確実に応えられるよう工夫した。具体的には、医療系特有のカリキュラムを踏まえた学科・専攻ごとの「忙しい時期」の解説をはじめ、キャンパス独自のお役立ち施設情報や、各分野で活躍する卒業生インタビューなどのオリジナル記事を充実させ、新生にとって真に実用的で分かりやすい誌面となるよう最適化を図った。

II-8 「ぴあのわ（全国大学ピアサポーター合同研修会）」参加

愛媛大学にて開催された「ぴあのわ 2025 in 愛媛（以下ぴあのわ）」にピアサポーター5名が参加した。

第6回 ぴあのわ

【概要】

主催 愛媛大学

会場 愛媛大学城北キャンパス

期日 2025年11月29日(土)、11月30日(日)

【プログラム】

○11月29日(土)

13:00 - 13:30 開会式

13:30 - 14:00 分科会 (ぴあの話①)

14:15 - 15:15 分科会(教職員セッション)

15:40 - 16:40 分科会(ぴあの話②)

17:00 - 19:00 ポスターセッション

19:00 - 20:30 情報交換会

20:30 - 21:30 キャンドルナイト

○11月30日(日)

09:30 - 10:30 分科会 (ぴあの話③)

10:45 - 11:45 アントレ・チャレンジ!

12:00 - 12:30 リフレクション

12:30 - 13:00 閉会式

【各プログラムの詳細】

11月29日(土)

開会式

幹事校の代表者からのご挨拶があった。

分科会 (ぴあの話①)

「ブレインストーミング」を用いて大学生活で感じている「気になること」「違和感」をいくつかのテーマに分けて自由に書き出しグループで共有した。これにより他の人の意見に対して共感し、自分の考えと組み合わせる新たな考えを作り出す方法を学んだ。

分科会(教職員セッション)

教職員セッションではピアサポートに関わる内容をご専攻の多様な先生から自団体に活かせるような「視点」や「議題への向き合い方・ヒント」をご教授いただける。ピアサポーターは参加するセッションを自由に選ぶことができ、私たちは「ぴあのわの先へ、ピアイノベーターへ」「チームビルディング」などに参加した。

分科会(ぴあの話②)

ぴあの話①で見つけた違和感をもとに理想を描きアクションプランへ落とし込む、トヨタ式の「なぜなぜ分析」の考え方を学んだ。

ポスターセッション

団体ごとにポスターを掲示し活動内容の発表を行った。医歯学系ピアサポーターはポスター展示に加え体験型ブース展示への参加も立候補し、将来の夢をもみじの葉の形の付箋に書き、ポスターに貼り付けてもらう「満開の紅葉を完成させる」企画を行った。自分たちのポスターやブースに興味を持ってくださった方々からご意見をいただき、また他団体の活動内容を伺うなかで、自団体の強みや自団体に今後取り入れられる活動の学びを得ることができた。

情報交換会

立食パーティー形式で、参加者と自由に交流を行った。様々な大学のピアサポーター・学生団体の方とお話しすることができたほか、昨年度のびあので知り合った方との再会もあり、心温まりながらびあの輪を広げることができた。

キャンドルナイト

情報交換会を終えて会場を出ると道の両脇にキャンドルを並べてくださっていた。1日目最後まで温かいおもてなしをいただいた。

11月30日(日)

分科会（びあの話③）

びあの話の最終章として、今まで考えてきたプランをクラス内で発表した。主題の概要を素早く伝えるのに適した「KP法」という手段を教わり実際に用いながら発表を行った。

アントレ・チャレンジ！

各々の団体ごとに集まりそれぞれのメンバーが今まで学んだことを統合させながら「理想のピアサポート活動とは？」という議題のもと、目標を描きアクションプランをKP法を用いて4つ提案した。発表の内容だけでなく、KP法で使った用紙のデザインが分かりやすいという評価を他大学の先生からいただくことができた。アントレ・チャレンジを通し、ピアサポート活動に対する目的意識を再確認することができ今後の活動に向けて大きな刺激になった。

リフレクション

グループに分かれ、今回のびあのおの振り返りを行った。

閉会式

幹事校の代表者や先生方からのご挨拶があり、続いてエンディングムービーの放映があった。参加者全体での写真撮影も行われ、温かい雰囲気の中2日目は終了した。また、ポスター賞とブース賞の受賞発表も行われ、私たち医歯学系ピアサポーターはブース賞1位という大変ありがたい賞をいただくことができた。今回このような素晴らしい賞を受賞できたことに改めて大きな喜びと、支えて下さった方への感謝の気持ちを感じた。びあのおで得たヒントや再確認した目的をもとに、自大学の学生に少しでも還元できるよう今後も活動に精力的に取り組んでいきたいという思いが強くなった。



Science Tokyo 医歯学系ピアサポーター

※2024年10月に国立大学法人 東京医科歯科大学と国立大学 法人東京工業大学が
統合し「国立大学法人 東京科学大学 (Science Tokyo)」が誕生しました。

活動内容

相談対応

X(旧Twitter)での質問箱とDM機能、対面、メール、投書箱にて相談を受付中！現在投書箱での相談対応が増加傾向にあります。相談内容は大学設備に関する質問が多く寄せられています。

ピアサポーター通信

学生生活に役立つ情報、
ピアサポーター活動を発信！
国家試験対策や研究室選びのポイントも
掲載中です。
大学のHP、ポータルサイト、
Slackで配信されます。
QRコード(▶)から閲覧可能です。



オープンキャンパス個別相談会

156組の方が参加！（1日目73組/2日目83組）

受験生向けの個別相談会と、
ポスター掲示、
学生生活を伝える冊子(▶)
の配布を行いました。



with 理工学系

理工学系ピア

定例情報交換会

月に1度、医歯学系・理工学系キャンパスの交互開催で合同ミーティングを実施しています。



ぐるっと!!ぴあノート

医歯学系と理工学系の交流を促進するための取り組みです。キャンパスを回るノートに学生が自由に思ったことを書き込めます。

新入生相談会

大学生生活を始める新入生の質問にお答えしました！

学修コンシェルジュJr

新入生ガイダンス

新入生に向けて 大学生活の実体験や過ごし方、学修面のノウハウをお伝えしました。



学生応援フォーラム

大岡山キャンパスで行われた、学生活動の活動報告会に参加しました。



所属人数

14人

医学科	看護学専攻	検査技術学専攻	歯学科	口腔保健衛生学専攻
5年/4年/2年	3年	2年	6年/4年/3年	3年
(人数) 1/2/2	1	1	2/1/3	1

→新規募集により学科間の偏りをなくし、業務の幅を広げています！

活動目的

ピア・サポートの充実

“ピア”は“仲間”という意味を持ち、ピア・サポートとは、学生生活を送る上で“誰かに相談したい”という学生に対し仲間や先輩である学生同士で気軽に相談に応じる制度です。“こんな支援があったらいいのでは”というニーズをピアサポーターで検討し、その実現に向けて積極的に活動しています。



将来の医療従事者として

“ピア・サポート”の活動は、医療人として必要なコミュニケーション能力やホスピタリティを更に向上させることを目的としています。



現状の課題

在学生向け支援の認知度の向上

相談対応の件数やぐるっと!!ぴあノートへの書き込みは増加傾向にありますが、在学生に支援をさらに気軽に利用してもらえるようにすることが目標です。

ピアサポーター内でのタスク分担・情報共有

毎週木曜日の昼休みにオンラインで定例mtgを行っています。が、学年や学科によって昼休みの時間や忙しさが異なります。その中で負担の少ないタスク分担や円滑な情報共有が課題です。

医学科の相談対応

新入生相談会やオープンキャンパスでは医学科ピアへの相談の需要が高くなっています。現状医学科ピアの負担が多くなっていること、相談者の待ち時間が長いことが課題です。

今後の展望

Teamsやmtg議題リストの活用

mtgに出席できなくてもタスクに携われるようにTeamsの投稿でタスク分担を行うほか、事前のmtg議題リストの記入を進めることでスムーズな情報共有を目指します。

医学科への相談ニーズの対応

医学科ピアの増員やイベント時に医学科のお手伝いを募集することでニーズにお応えします。

理工学系との連携

旧東京工業大学との統合に当たり、理工学系と密に連携することで在学生のお悩みに寄り添うとともに理工学系と医歯学系の学生の交流支援を進めていきます。また来年度の新入生ガイダンスに向け学修コンシェルジュJr.さんと準備を鋭意行っています。



SNS情報

公式X (旧Twitter)



ホームページ



Ⅱ-9 「第 19 回学生応援フォーラム」への参加

2026 年 3 月 2 日、東京科学大学大岡山キャンパスにて「第 19 回学生応援フォーラム」が開催された。三度目の参加となる今回は、医歯学系ピアサポーター3 名と教職員 1 名が出席した。

今年は統合後 2 回目の学生応援フォーラムであり、昨年度に引き続き「ひろがる世界、つながる未来」というテーマが掲げられた。本学の学生・教職員に加え、他大学の学生・教職員、ならびに社会人の方など計 100 人が参加した。

医歯学系ピアサポーターを含む 19 団体による口頭やポスターによる発表があり、学生同士のつながりや団体間の連携が深まる貴重な機会となった。現在、東京科学大学公式 HP に詳しい記事が掲載中である。(https://www.isct.ac.jp/ja/news/cb6pftt14has)

Ⅲ 2025 年度の活動を振り返って

Ⅲ-1 ピアサポート活動の終了にあたり

今年度のピアサポート活動の終了にあたり、2026 年 3 月にミーティングとアンケートを実施した。アンケートを抜粋したものを以下に記す。(回答者：8 名)

○今期の活動について（頑張ったこと、印象に残っていること）

【活動全般】

- ・ピアサポーター1 年目でも様々な活動に参加できた。とても充実した活動で自身の成長にも繋がったと思う。
- ・自分の得意を生かして貢献できたこと。

【ぴあのわ】

- ・幅広い大学の方々と交流できたのが勉強になり、楽しかった。
- ・実際に相談者の方や他の団体の方の声を聞くことができ、学生の皆さんに寄り添う活動を今後もしていきたいという思いが強くなった。
- ・ピアサポーター活動の目的をピア内で改めて話し合う機会があり、結束力と今後の活動へのエネルギーの高まりを感じることができた。

【オープンキャンパス】

- ・個別相談会では、受験生が求めている情報を適切に話せるよう、受験方式の異なる友人に話を聞くなどして準備を行った。
- ・ポスターなど、デザインのお仕事などを多く担当した。
- ・昨年の課題を構造化してよりよく相談会を実施できた。

【新入生ガイダンスの準備】

- ・ピアの皆さんで協力して学びのデザインという一つの冊子を作り上げたこと。
- 学びのデザインを主体的に作成した。

【投書箱の相談対応】

- ・メール文や回答文を考えたりすることを頑張った。

○活動前と後における変化（変わったこと・学んだこと・気づいたこと）

【活動全般】

- ・学年が上がるにつれ、自らがプロジェクトを動かさねばならないという自覚がより強くなった。
- ・他人を気遣う姿勢を多く学んだ。
- ・1年目でピアサポーターの仕事の流れがつかめたので、次年以降に生かしたい。
- ・昨年度よりも対面のイベントに多く参加できた。

先生方やピアの皆さんと心を通わせることが楽しいだけでなく、モチベーションアップにも繋がった。

- ・ピアサポーター活動のお陰で、他の活動でも、自分のできることの線引きをはっきりさせて、あまりストレスをためないように、相手のキャパシティを気遣って上手くチームワークを築けるようになった。

【相談対応】

- ・オープンキャンパスや投書を通して、相手が求めている回答を想像したり、配慮のある言葉遣いを考えたりすることの大切さを学んだ。

【他団体との交流】

- ・他団体との交流を通して、スケジューリング・コミュニケーションの大切さを実感した。
- 限られた時間の中で意思疎通をし、何かを完成させることは難しかったが、事前準備やピア同士の協力により乗り越えることができた。ピア内の結束力も高まったと思う。

○ピア・サポーター活動の感想

- ・昨年度よりも更に活動の幅が広がり、活気のある活動になったと感じる。
- ・とてもパワフルな先生方、先輩方のもと様々な経験を積めて楽しかった。
- ・誰かのために活動できる経験は本当に貴重だと改めて思った。

- ・ピアサポーター同士で支え合って活動することができた。
- ・他のピアがいたおかげで活動がうまくいったと思う。大変感謝している。
- ・忙しく、なかなか活動や参加できない時期もあったが、自分のペースでやれることを最大限にやることができた。
- ・ピアサポーターがこんなにも力を秘めていたのかと驚くとともに、今後がますます楽しみである。

○ピア・サポート制度が今後も充実していくための検討課題について

- ・ピアサポーターの忙しい時期をその都度共有していけば、さらに個人に負荷がかからず、仕事の分担を考えられるようになると思う。
- ・ぐるっと！！ぴあノートの治安の安定化。
- ・募集が2年生である点が人数不足に繋がっているように感じる。募集のタイミングを1年後期に早めるなど、工夫できると活動の幅も広げられると思う。
- ・連絡手段が複数のツールに分散しており煩雑なため、一つにする。
- ・活動の周知

活動をより知ってもらうために、Slack や X などの SNS での共有をより活発にすることで充実するのではないか。

- ・背負いすぎないこと

活動の幅が広がった分、お仕事が多くなったと思う。忙しいときは協力を募り、できないことはできないと無理しすぎないことも必要。

○次年度やってみたいと思う活動について

- ・現在は目の前のタスクの消化に追われがちなので 2026 年度を通して続ける活動、終わりにする活動を決めて行けたらいいと思う。
- ・ピアの知名度をもっと上げて、学生生活に関する相談などをもっと受けれるようになると良いと思う。
- ・新入生相談会やオープンキャンパスの個別相談会など、対面でのイベントをより盛り上げたい。
- ・新入生ガイダンス、初めての新入生相談会、新入生ガイダンスの学びのデザインの作成。
- ・ぴあのおへの参加。
- ・ホームページを見やすくしたい。
- ・Instagram や公式 LINE での活動共有

○医療人として必要なコミュニケーション能力やホスピタリティを身につけ、積極性、視野や世界観を広げるというピアサポート制度の目的について

【目的は達成されたか】

- ・非常に達成された：4名
- ・達成された：3名
- ・どちらともいえない：1名

【理由】

- ・オープンキャンパスでは相手のバックグラウンドを知らない中での相談対応であったため、様々な方への対応を通して、コミュニケーション能力やホスピタリティ精神が身についたと思う。
- ・今年度は理工学系ピアサポーター、ぴあのわで出会った方々、学修コンシェルジュ Jr. のみなさんと積極的にコミュニケーションを取れた一年であった。
- ・他学部の方と出会うことでさまざまな価値観に触れることができ、視野が広がった。
- ・新入生相談会や新入生ガイダンスの準備時に、自身の経験を振り返り、新入生にとってより良いものを作成しようという思いが自然に湧いた。
- ・まだまだ成長中ですが、十分に目的を達成できる活動だと思う。

Ⅲ-2 まとめ

東京科学大学としての新体制が本格始動した本年度は、昨年度に築いた理工学系の学生団体との連携基盤をさらに発展させることができた。キャンパスの枠を越えた数々の合同企画の実施や案内媒体の共同制作など、多角的な協働を通して「一大学」としてのつながりを確かなものにし、学生同士の相互理解をより一層深める成果を得た。これからも多様な学生に寄り添って学生生活を積極的にサポートするとともに、キャンパス間の交流や学外との連携も大切にし、ピアサポート活動の充実につなげていきたい。

今後の課題としては、引き続き学生へのピアサポート活動の周知（認知度の向上）が挙げられる。本年度の活動を通して両キャンパス間の連携体制の具体化は大きく前進したが、今後はこの体制を一過性のものにせず、持続可能な仕組みとして定着・形式化させていく必要がある。引き続き、積極的な情報発信や各種企画への参加を継続し、少しずつ認知度の向上に努めたい。今後は、学生一人ひとりが運営の主役であるという意識を持ち、医歯学系・理工学系それぞれの学生が自身の強みを活かし合える、より自律的かつ主体的な組織運営を目指していく。